

(7) 学期末・学年末の評価の活用

〔設問 17〕 あなたは、学期末・学年末の評価の結果をどのように活用していますか。

○ 調査の結果

(1) 指導計画（年間・単元）の改善の資料として

選 択 肢	小 学 校				中学校	高 等 校	全 体
	低学年	中学年	高学年	計			
ア 活用している	18%	7%	11%	11%	18%	23%	17%
イ 活用していることが多い	25	26	35	30	35	42	35
ウ 活用していることが少ない	45	54	45	48	39	30	40
エ ほとんど活用していない	12	13	9	11	8	5	8
回 答 者 数	67人	132人	150人	349人	360人	263人	972人

- 「活用している」と答えた教師は17%であり、「活用していることが多い」と答えた教師は35%を占め、約50%の教師は指導計画の改善の資料として活用している。
- 改善の資料として活用している教師は、高等学校に多く、ついで中学校、小学校の順になっている。指導要録への「観点別学習状況の欄」の導入により、小学校における評価研究が一段と進んでいると予想していたが、指導計画の改善までは評価が、十分に活用されていないようである。このことは中学校でも同様であり、〔設問 1〕で、指導計画に具体的に評価の観点を位置づけていても、事後の活用は少数のようである。

(2) 学習指導法の改善の資料として — 回答者数は(1)と同じ。

選 択 肢	小 学 校				中学校	高 等 校	全 体
	低学年	中学年	高学年	計			
ア 活用している	27%	20%	25%	23%	29%	34%	28%
イ 活用していることが多い	54	48	54	52	49	45	49
ウ 活用していることが少ない	19	27	20	22	20	19	21
エ ほとんど活用していない	0	5	1	3	2	2	2

- 「活用している」教師が28%、「活用していることが多い」教師が49%と、合わせて全体の77%の教師は、評価の結果を学習指導法改善の資料として活用している。